

## イベント情報カレンダー

2月

- 2.2 (土) 3 (日) 特別ワークショップ (岩城少年自然の家)
- 2.5 (火) 6 (水) 特別休館日
- 2.9 (土) ハモルカーナ音楽会
- 2.23 (土) 特別ワークショップ (保呂羽山少年自然の家)

3月

- 3.2 (土) 3 (日) 特別ワークショップ (岩城少年自然の家)
- 3.9 (土) ハモルカーナ音楽会  
あいマルシェ (NPO 法人 逢い)

4月

4月以降のイベント  
ワークショップは只今準備中です。

※日程・プログラムは変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

TOY MUSEUM GROUP

日本全国各地の豊かな自然とその土地に伝わる文化を「おもちゃ」や「遊び」を通して、受け継ぎ、育む空間である「おもちゃ美術館」が全国に広がっています。

鳥海山木のおもちゃ美術館は全国で4館目としてオープンしました。今後も全国で設立が検討されています。

東京おもちゃ美術館  
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内  
<http://goodtoy.org/ttm/>

やんばる森のおもちゃ美術館  
〒905-1411 沖縄県国頭村字辺土名1094-1  
<http://www.kunigami-forest-park.org/>

長門おもちゃ美術館  
〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1  
<https://nagato-toymuseum.com/>

## 「一口館長」募集のご案内

### 館内にお名前が残ります

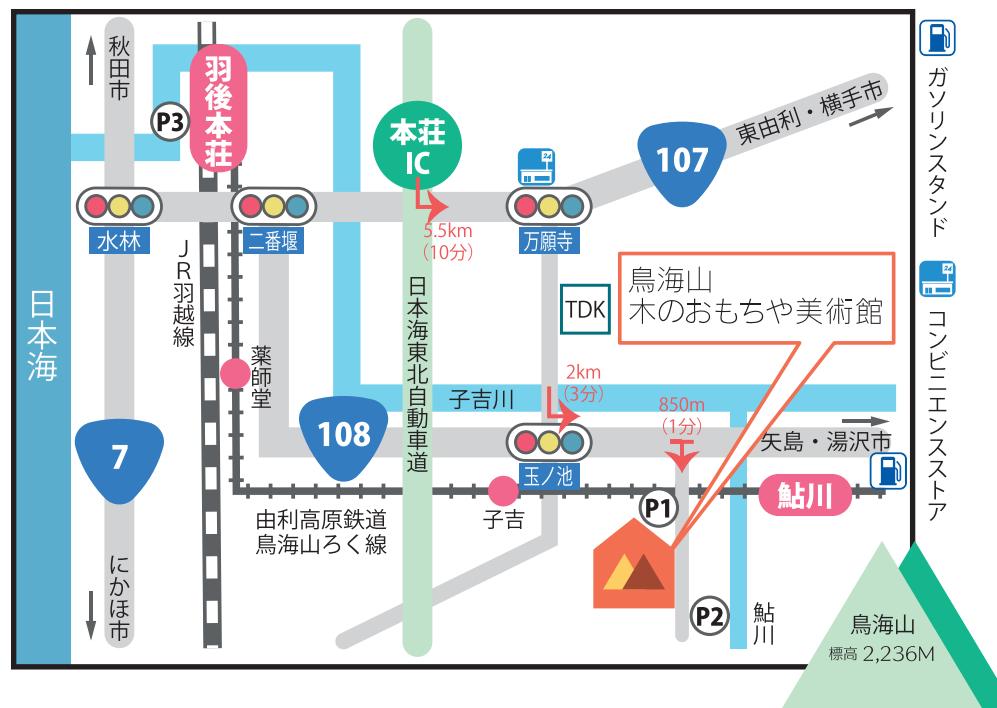
おもちゃと遊びはもちろん、由利本荘市の魅力を伝え、また多世代交流の架け橋となる活動を応援・支援し、「一口館長」となっていただける方を募集いたします。



そのほか金額に応じた返礼品がございます。



詳しくはホームページで！



## 鳥海山木のおもちゃ美術館

〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 旧鮎川小学校

URL <http://chokaisan-wtm.jp>

鳥海山木のおもちゃ美術館



発行: 特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会

〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1

Tel 0184-74-9070 Fax 0184-74-9079

[www.yurihonjo-mokuiku.jp](http://www.yurihonjo-mokuiku.jp) [info@yurihonjo-mokuiku.jp](mailto:info@yurihonjo-mokuiku.jp)

発行日: 2019年1月25日

鳥海山  
木のおもちゃ美術館  
CHOKAISAN WOODEN TOY MUSEUM

# ゆりほんじょう木育通信

2019年  
冬号  
Vol.06



## TOPICS 鳥海山木のおもちゃ美術館 冬も元気に開館中です！

例年に比べ、積雪の少ない由利本荘市です。雪は少なくとも厳しい寒さはまだ続います。「ぬくもりある木造校舎」は実際はいたるところからすきま風が入り、びっくりするほど寒いんです。さらに国登録有形文化財のため、強力な（炎が出るような）暖房設備は許可がおりず、エアコンと石油ファンヒーターが中心となります。そのためスタッフは早出し、エアコンをつけ、灯油を補充し、除雪するという、忙しい冬を過ごしています。開館し、お客様がいらっしゃる時間にはだいぶ温まっていますので、安心してご来館ください。

そんな寒さの中ですが、1月6日(日)には「もちつき＆ふるまい」を行いました。当NPO法人の理事長をはじめ、役員も参加し、和気あいあいと大盛況でした。ついたお餅はお雑煮とお汁粉にして、来館者の皆さんとおもちゃ学芸員、スタッフ一同で美味しくいただきました。

そんな賑やかな様子をのぞきに来るのか、ニホンカモシカのこどもが最近よくやってきます。以前から、校舎周辺にはニホンカモシカがあらわれ、おもちゃ列車やカフェでもキャラクターになっていますが、好奇心旺盛なこどもが遊びに来るようになりました。運が良ければそんな訪問者にも会えるかもしれません。冬も元気に開館中の鳥海山木のおもちゃ美術館に是非お越しください。



もりのあそびばでみんなでおもちつき



校舎の周辺にやってくるニホンカモシカのこども

## 触って遊べる「グッド・トイ展示室」

鳥海山木のおもちゃ美術館にはグッド・トイと呼ばれるおもちゃが多数展示され、触って遊ぶことができます。「もりのあそびば」「ハイハイひろば」「おもちゃファクトリー」など、体験しながら遊べるお部屋がこどもたちに人気ですが、おとながハマっている姿がよく見られるのが、この「グッド・トイ展示室」です。グッド・トイを年代別に展示し、触って遊べる、そしてひらめきや発見がある。こどもにもおとなにも大人気のお部屋です。



### PickUp!

#### 由利本荘市からも「おむすびころりん」がグッド・トイ 2018に選出されました！

毎年6月にその年のグッド・トイが選定されますが、昨年は由利本荘市在住の木工作家 和田良司さん（木楽工房）の作品「おむすびころりん」がグッド・トイに選定されました。鳥海山木のおもちゃ美術館開館直前の嬉しいニュースでした。

「おむすびころりん」は秋田杉の積み木。優しい風合いで、今年度からスタートした由利本荘市の誕生祝い品にも選定されています。

館内では「もりのあそびば」と「グッド・トイ展示室」に常設していますので、ぜひ触れて遊んでみてください。



## 「グッド・トイ」とは

グッド・トイとは全国のおもちゃコンサルタントが選ぶ「よいおもちゃ」のこと。1985年から毎年、その年のグッド・トイが選ばれています。東京おもちゃ美術館を運営する認定NPO法人芸術と遊び創造協会では、おもちゃを見る視点として以下の3つの方針と6つのポイントを設けています。

- ①【健全なおもちゃ】安全性への配慮を評価するとともに、暴力行為、他を傷つける行為を連想させるもの、遊び内容が暴力的であるものは選ばれません。
  - ②【ロングセラーおもちゃ】流行を求める一過性の楽しさではなく、ロングセラーのおもちゃとしての可能性を評価します。
  - ③【遊び・コミュニケーション尊重おもちゃ】知育、早期教育への偏重を慎重に取り扱い、ユニバーサルな遊びとコミュニケーションを尊重した選考を行っています。
- <6つのポイント> 美しい色と形、動きのバリエーション、適度な大きさと重さ、心地よい音、感触のよさ、丈夫さと壊れにくさ

鳥海山木おもちゃ美術館は、そんなおもちゃに触れ合い、遊ぶことができる体験型の美術館です。一つ一つのおもちゃが誕生するまでには、試行錯誤が繰り返され、製作者のさまざまな思いが込められています。ただ見て楽しむだけではなく、触れて遊び、そこで出会ったおもちゃから受け取るメッセージを是非感じてください。



### 木をもっと身近な存在に

和田良司（木楽工房 代表）

由利本荘市内で大工として活躍する和田良司さんは、「木楽工房」として木工品の製作活動を行っています。鳥海山木のおもちゃ美術館の整備においても、本業の大工として、また、木工作家として、様々な場面でご尽力いただきました。さらに昨年、和田さんが製作した木のおもちゃ「おむすびころりん」がグッド・トイ2018を受賞しました。

Q. おむすびころりんを製作しようと思ったきっかけは？

和田良司さん（以下、和田） 由利本荘市のウッドスタート宣言に伴う誕生祝い品の製作がきっかけでした。これまで何点か木のおもちゃを作ったことはありましたが、特定の目的を持った製作はこの「おむすびころりん」が最初です。数ある材種からこの秋田杉を使用したのは、地元材を使用するという条件もあったのですが、なによりも杉の木が持つなんとも言えない柔らかな、優しい感じをおもちゃにできたらと思い製作しました。

Q. おもちゃ美術館では木工製作のワークショップもしていただいているますね。

和田 ワークショップは自分にとっても良い経験になりました。道具の使い方や、材の見分けなど、これまで自身で把握していれば良い事を、未経験の人に伝えなければなりません。分かりやすく説明する事の大変さも感じました。

Q. 今後の目標は？

和田 世代を問わず日常的に木と関わる機会が少なくなっているように思います。実用性重視の家具や日用品も安価で手頃な樹脂製品がほとんどです。本物の木に触れ、体験し、大人世代が木の良さを感じ、子ども世代に伝える事も木育の一つに思います。「木のおもちゃは欲しいけど値段が…」とよく聞きます。しかし、逆にとれば「木のおもちゃは良い」と認識されているのでは？もっと身近な木のおもちゃになるようこれからも木と関わっていきたいと思います。



和田 良司  
木楽工房 代表  
1960年生まれ  
秋田県由利本荘市出身・在住